# 施策の評価シート（令和５年度分）

## 1　計画における位置付け

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 政策体系 | 総合計画 | 目標 | 04 | 心やすらぐ住みよいまちづくり | | |
| | | 基本政策 | 09 | 快適に暮らせる都市空間の形成 | 管理コード | 040927 |
| | | 施策 | 27 | 緑化の推進と公園緑地の整備 | 本冊ページ | 75 |
| | 関連個別計画 | | 津市都市マスタープラン | | | |
| 担当部局 | | | 都市計画部、建設部 | | | |
| 施策の内容（番号） | | | 086 | ～ | 089 | |

## 2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

| 番号 | 施策の内容 | 「施策の内容」の総合評価 選択区分 | 今後の方向性 選択区分 | 担当課 |
|---|---|---|---|---|
| 086 | 快適な生活空間の形成に向け、緑の持つさまざまな機能を十分踏まえ、長期的な視点に立って、緑地の保全や緑化の推進に取り組みます。 | A | ① | 都市政策課 |
| 087 | 講習会の開催等や津市緑化基金等を活用した市民の緑化活動への支援により、道路・河川等の公共空間や民有地の公的空間の緑化を推進するとともに、市民の緑化意識の高揚を促進します。 | A | ① | 都市政策課 |
| 088 | 都市計画公園については、多くの市民の憩いや交流、レクリエーションの拠点となるよう、貴重な緑や景観を保全し、地域の実情や市民のニーズに対応しながら、計画的な整備を推進します。 | B | ① | 建設整備課 |
| 089 | 既に整備の完了している公園については、地域コミュニティの場などとして、幅広い世代が今後も安全・安心に利用できるよう、適切な維持管理を行うとともに、利用者ニーズ・利用状況を踏まえた計画的かつ効率的な施設更新を進めます。 | B | ① | 南北工事事務所 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

## 3　「施策」の総合評価

| | 区分 | 選択区分 | 総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載） |
|---|---|---|---|
| 「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価 | A　80点以上<br>B　60点以上80点未満<br>C　40点以上60点未満<br>D　20点以上40点未満<br>E　20点未満 | A | 記念樹及び生け垣用の苗木の配布や緑化・美化活動に取り組む団体に対する花苗等の提供を行い、緑化の推進を図りました。また、香良洲高台防災公園や岩田池公園の整備、老朽化した公園施設の改修工事、公園の清掃・除草等の維持管理を実施することにより、適切な公園緑地の確保が進みました。 |

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

## 計画期間における達成状況

| 年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 総合評価 | A | A | A | B | A | A | | | | |

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

# 施策の内容評価シート（令和5年度分）

## 1　計画における位置付け

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 政策体系 | 総合計画 | 目標 | 04 | 心やすらぐ住みよいまちづくり | | |
| | | 基本政策 | 09 | 快適に暮らせる都市空間の形成 | 管理コード | 040927086 |
| | | 施策 | 27 | 緑化の推進と公園緑地の整備 | 本冊ページ | 75 |
| | 関連個別計画 | | 津市都市マスタープラン（平成30年度～令和9年度） | | | |
| 担当部局 | | | 都市計画部 | | | |
| 施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果 | | | 086 | 快適な生活空間の形成に向け、緑の持つさまざまな機能を十分踏まえ、長期的な視点に立って、緑地の保全や緑化の推進に取り組みます。 | | |

## 2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

| 番号 | 事業名 / 担当課 | 事業の内容 | 事業の目的 | | 事業の評価 | | 事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 効 | 事業の実施により直接的に表れる効果 | ◆ 当初の事業実施計画 | 実施評価 | |
| | | | 誰 | 誰のための事業か | ◇ 事業評価の主な視点 | 事業評価 | |
| | | | 何 | 何のための事業か | 決算額（千円） | 今後の方向性 | |
| 086-1 | 緑化推進事業 | 記念樹用苗木の配布 | 効 | 人生の節目を記念して、記念樹木を配布することにより、市民が愛着を持って育む樹木を増やすと共に、潤いのある美しいまちづくりの推進を図る | ◆ 申請件数　700件 | ○ | 実施計画を下回ったが（申請実績：671件）、市民が愛着を持って育む樹木を増やし、潤いのある美しいまちづくりの推進が図れている。 |
| | | | 誰 | 市民 | ◇ 申請件数 | ○ | |
| | 都市政策課 | | 何 | 緑化の推進 | 484（千円） | 現状維持 | |
| 086-2 | 緑化推進事業 | 生け垣緑化用苗木の配布 | 効 | 生け垣緑化を通し、緑に囲まれた住みよい環境づくりを図る | ◆ 申請件数　10件 | ○ | 実施計画を1件下回ったが（申請実績：9件）、生け垣を設置することにより、緑に囲まれた住みよい環境づくりが図ることができた。 |
| | | | 誰 | 市民 | ◇ 申請件数 | ○ | |
| | 都市政策課 | | 何 | 緑化の推進 | 237（千円） | 現状維持 | |
| 086-3 | 緑化推進事業 | 緑化・美化運動の実施 | 効 | 緑化推進を通し、地域住民が親しめるまちなみを形成し、緑化への関心を図る | ◆ 取り組み団体数170団体 | ◎ | 実施計画の取り組み団体数と同数（取り組み団体数：170団体）であり、地域住民が親しめるまちなみが形成され、緑化への関心が図ることができた。 |
| | | | 誰 | 市民 | ◇ 取り組み団体数 | ◎ | |
| | 都市政策課 | | 何 | 緑化の推進 | 5,494（千円） | 現状維持 | |
| 086-4 | | | 効 | | ◆ | | |
| | | | 誰 | | ◇ | | |
| | | | 何 | | （千円） | | |

# 施策の内容評価シート（令和5年度分）

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 086-5 | | | 効 | | ◆ | | |
| | | | 誰 | | ◇ | | |
| | | | 何 | | （千円） | | |
| 086-6 | | | 効 | | ◆ | | |
| | | | 誰 | | ◇ | | |
| | | | 何 | | （千円） | | |
| 086-7 | | | 効 | | ◆ | | |
| | | | 誰 | | ◇ | | |
| | | | 何 | | （千円） | | |
| 086-8 | | | 効 | | ◆ | | |
| | | | 誰 | | ◇ | | |
| | | | 何 | | （千円） | | |
| 086-9 | | | 効 | | ◆ | | |
| | | | 誰 | | ◇ | | |
| | | | 何 | | （千円） | | |

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）
※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

## 3 「施策の内容」の総合評価

| | 区分 | 選択区分 |
|---|---|---|
| 実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価 | A 80点以上<br>B 60点以上80点未満<br>C 40点以上60点未満<br>D 20点以上40点未満<br>E 20点未満 | A |

## 4 今後の方向性

| | 区分 | 選択区分 |
|---|---|---|
| 今後の施策の内容の方向性 | ① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持<br>② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある<br>③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい<br>④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要 | ① |

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

## 計画期間における達成状況

| 年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 総合評価 | A | B | B | B | A | A | | | | |
| 今後の方向性 | ① | ① | ① | ② | ① | ① | | | | |

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

# 施策の内容評価シート（令和5年度分）

## 1　計画における位置付け

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 政策体系 | 総合計画 | 目標 | 04 | 心やすらぐ住みよいまちづくり | | |
| | | 基本政策 | 09 | 快適に暮らせる都市空間の形成 | 管理コード | 040927087 |
| | | 施策 | 27 | 緑化の推進と公園緑地の整備 | 本冊ページ | 75 |
| | 関連個別計画 | | 津市都市マスタープラン（平成30年度～令和9年度） | | | |
| 担当部局 | | | 都市計画部 | | | |
| 施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果 | | | 087 | 講習会の開催等や津市緑化基金等を活用した市民の緑化活動への支援により、道路・河川等の公共空間や民有地の公的空間の緑化を推進するとともに、市民の緑化意識の高揚を促進します。 | | |

## 2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

| 番号 | 事業名 | 担当課 | 事業の内容 | | 事業の目的 | 事業の評価 | | 事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 効 | 事業の実施により直接的に表れる効果 | ◆ 当初の事業実施計画 | 実施評価 | |
| | | | | 誰 | 誰のための事業か | ◇ 事業評価の主な視点 | 事業評価 | |
| | | | | 何 | 何のための事業か | 決算額（千円） | 今後の方向性 | |
| 087-1 | 緑化推進事業 | 都市政策課 | 記念樹用苗木の配布 | 効 | 人生の節目を記念して、記念樹木を配布することにより、市民が愛着を持って育む樹木を増やすと共に、潤いのある美しいまちづくりの推進を図る | ◆ 申請件数　700件 | ○ | 実施計画を下回ったが（申請実績：671件）、市民が愛着を持って育む樹木を増やし、潤いのある美しいまちづくりの推進が図れている。 |
| | | | | 誰 | 市民 | ◇ 申請件数 | ○ | |
| | | | | 何 | 緑化の推進 | 484（千円） | 現状維持 | |
| 087-2 | 緑化推進事業 | 都市政策課 | 生け垣緑化用苗木の配布 | 効 | 生け垣緑化を通し、緑に囲まれた住みよい環境づくりを図る | ◆ 申請件数　10件 | ○ | 実施計画を1件下回ったが（申請実績：9件）、生け垣を設置することにより、緑に囲まれた住みよい環境づくりが図ることができた。 |
| | | | | 誰 | 市民 | ◇ 申請件数 | ○ | |
| | | | | 何 | 緑化の推進 | 237（千円） | 現状維持 | |
| 087-3 | 緑化推進事業 | 都市政策課 | 緑化・美化運動の実施 | 効 | 緑化推進を通し、地域住民が親しめるまちなみを形成し、緑化への関心を図る | ◆ 取り組み団体数170団体 | ◎ | 実施計画の取り組み団体数と同数（取り組み団体数：170団体）であり、地域住民が親しめるまちなみが形成され、緑化への関心が図ることができた。 |
| | | | | 誰 | 市民 | ◇ 取り組み団体数 | ◎ | |
| | | | | 何 | 緑化の推進 | 5,494（千円） | 現状維持 | |
| 087-4 | | | | 効 | | ◆ | | |
| | | | | 誰 | | ◇ | | |
| | | | | 何 | | （千円） | | |

# 施策の内容評価シート（令和5年度分）

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 087-5 | | | 効 | | ◆ | | |
| | | | 誰 | | ◇ | | |
| | | | 何 | | （千円） | | |
| 087-6 | | | 効 | | ◆ | | |
| | | | 誰 | | ◇ | | |
| | | | 何 | | （千円） | | |
| 087-7 | | | 効 | | ◆ | | |
| | | | 誰 | | ◇ | | |
| | | | 何 | | （千円） | | |
| 087-8 | | | 効 | | ◆ | | |
| | | | 誰 | | ◇ | | |
| | | | 何 | | （千円） | | |
| 087-9 | | | 効 | | ◆ | | |
| | | | 誰 | | ◇ | | |
| | | | 何 | | （千円） | | |

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）
※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

## 3 「施策の内容」の総合評価

| | 区分 | 選択区分 |
|---|---|---|
| 実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価 | A 80点以上<br>B 60点以上80点未満<br>C 40点以上60点未満<br>D 20点以上40点未満<br>E 20点未満 | A |

## 4 今後の方向性

| | 区分 | 選択区分 |
|---|---|---|
| 今後の施策の内容の方向性 | ① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持<br>② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある<br>③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい<br>④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要 | ① |

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

## 計画期間における達成状況

| 年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 総合評価 | A | B | B | B | A | A | | | | |
| 今後の方向性 | ① | ① | ① | ② | ① | ① | | | | |

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

# 施策の内容評価シート（令和5年度分）

## 1　計画における位置付け

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 政策体系 | 総合計画 | 目標 | 04 | 心やすらぐ住みよいまちづくり | | |
| | | 基本政策 | 09 | 快適に暮らせる都市空間の形成 | 管理コード | 040927088 |
| | | 施策 | 27 | 緑化の推進と公園緑地の整備 | 本冊ページ | 75 |
| | 関連個別計画 | | | | | |
| 担当部局 | | | 都市計画部、建設部 | | | |
| 施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果 | | | 088 | 都市計画公園については、多くの市民の憩いや交流、レクリエーションの拠点となるよう、貴重な緑や景観を保全し、地域の実情や市民のニーズに対応しながら、計画的な整備を推進します。 | | |

## 2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

| 番号 | 事業名 | 担当課 | 事業の内容 | 事業の目的 | | 事業の評価 | | 事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 効 | 事業の実施により直接的に表れる効果 | ◆ 当初の事業実施計画 | 実施評価 | |
| | | | | 誰 | 誰のための事業か | ◇ 事業評価の主な視点 | 事業評価 | |
| | | | | 何 | 何のための事業か | 決算額（千円） | 今後の方向性 | |
| 088-1 | 香良洲高台防災公園整備事業 | 建設整備課 | 香良洲高台防災公園の整備工事 | 効 | 地震、津波発生時に避難、及び平常時の公園利用 | ◆ 雨水施設、多目的グラウンド整備 | ○ | 公園の雨水施設、多目的グラウンドの整備を行い、着実に整備を進めた。引き続き、令和6年度末完成を目指し整備を進めていく。 |
| | | | | 誰 | 地震、津波発生時に地区外へ逃げ遅れた人及び公園利用者 | ◇ 避難場所の確保、公園利用 | ○ | |
| | | | | 何 | 発災時に逃げ遅れても地区内避難ができる安心感が持てる。一般的な公園利用に加えて、軽運動やレクリエーションなどに活用することができる | 212,122（千円） | 現状維持 | |
| 088-2 | 岩田池公園整備事業 | 建設整備課 | 岩田池公園の整備工事 | 効 | サブエントランスや園路の利用 | ◆ 工事用道路整備 L=54m | ○ | 公園北東部の園路整備に伴う堤体工事に必要となる工事用道路の整備を行った。引き続き園路整備を着実に進めていく。 |
| | | | | 誰 | 公園利用者 | ◇ 公園利用の増加 | △ | |
| | | | | 何 | 前面県道からサブエントランスを視認し、公園利用の機会が増える | 18,487（千円） | 現状維持 | |
| 088-3 | 公園施設長寿命化対策事業 | 建設整備課 | 老朽化した公園施設の改修工事 | 効 | 老朽化した公園施設（遊戯施設）の更新により、安全性の確保、公園施設の機能確保ができる | ◆ 遊戯施設29基更新 | ◎ | 老朽化した遊戯施設の更新を行った。引き続き、公園施設の更新により、公園利用者の安全・安心な利用を図るとともに、公園施設の機能確保を行う。 |
| | | | | 誰 | 公園利用者 | ◇ 施設更新の進捗率 | ◎ | |
| | | | | 何 | 安全・安心に公園を利用できる | 37,668（千円） | 現状維持 | |
| 088-4 | | | | 効 | | ◆ | | |
| | | | | 誰 | | ◇ | | |
| | | | | 何 | | （千円） | | |

# 施策の内容評価シート（令和5年度分）

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 088-5 | | | 効 | | ◆ | | |
| | | | 誰 | | ◇ | | |
| | | | 何 | | （千円） | | |
| 088-6 | | | 効 | | ◆ | | |
| | | | 誰 | | ◇ | | |
| | | | 何 | | （千円） | | |
| 088-7 | | | 効 | | ◆ | | |
| | | | 誰 | | ◇ | | |
| | | | 何 | | （千円） | | |
| 088-8 | | | 効 | | ◆ | | |
| | | | 誰 | | ◇ | | |
| | | | 何 | | （千円） | | |
| 088-9 | | | 効 | | ◆ | | |
| | | | 誰 | | ◇ | | |
| | | | 何 | | （千円） | | |

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）
※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

## 3 「施策の内容」の総合評価

| | 区分 | 選択区分 |
|---|---|---|
| 実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価 | A 80点以上<br>B 60点以上80点未満<br>C 40点以上60点未満<br>D 20点以上40点未満<br>E 20点未満 | B |

## 4 今後の方向性

| | 区分 | 選択区分 |
|---|---|---|
| 今後の施策の内容の方向性 | ① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持<br>② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある<br>③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい<br>④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要 | ① |

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

## 計画期間における達成状況

| 年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 総合評価 | B | B | B | C | B | B | | | | |
| 今後の方向性 | ① | ① | ① | ① | ① | ① | | | | |

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

# 施策の内容評価シート（令和5年度分）

## 1　計画における位置付け

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 政策体系 | 総合計画 | 目標 | 04 | 心やすらぐ住みよいまちづくり | | |
| | | 基本政策 | 09 | 快適に暮らせる都市空間の形成 | 管理コード | 040927089 |
| | | 施策 | 27 | 緑化の推進と公園緑地の整備 | 本冊ページ | 75 |
| | 関連個別計画 | | | | | |
| 担当部局 | | | 建設部 | | | |
| 施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果 | | | 089 | 既に整備の完了している公園については、地域コミュニティの場などとして、幅広い世代が今後も安全・安心に利用できるよう、適切な維持管理を行うとともに、利用者ニーズ・利用状況を踏まえた計画的かつ効率的な施設更新を進めます。 | | |

## 2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

| 番号 | 事業名 | 担当課 | 事業の内容 | 事業の目的 | | 事業の評価 | | 事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 効 | 事業の実施により直接的に表れる効果 | ◆ 当初の事業実施計画 | 実施評価 | |
| | | | | 誰 | 誰のための事業か | ◇ 事業評価の主な視点 | 事業評価 | |
| | | | | 何 | 何のための事業か | 決算額（千円） | 今後の方向性 | |
| 089-1 | 公園維持事業 | 南北工事事務所 | 公園の清掃、除草等の維持管理 | 効 | 適正な公園施設の維持管理を行う | ◆ 公園施設の維持管理 | ○ | 地域住民の憩いや交流の場として、安全かつ安心して利用できるように、維持管理に努めることができた。引き続き、安全かつ安心して利用できるように、維持管理を行って行く。 |
| | | | | 誰 | 公園利用者 | ◇ 維持管理の進捗率 | ○ | |
| | | | | 何 | 公園利用者の安全かつ快適に利用できるよう、適正な公園施設の維持管理を行う | 220,771（千円） | 現状維持 | |
| 089-2 | | | | 効 | | ◆ | | |
| | | | | 誰 | | ◇ | | |
| | | | | 何 | | （千円） | | |
| 089-3 | | | | 効 | | ◆ | | |
| | | | | 誰 | | ◇ | | |
| | | | | 何 | | （千円） | | |
| 089-4 | | | | 効 | | ◆ | | |
| | | | | 誰 | | ◇ | | |
| | | | | 何 | | （千円） | | |
| 089-5 | | | | 効 | | ◆ | | |
| | | | | 誰 | | ◇ | | |
| | | | | 何 | | （千円） | | |

# 施策の内容評価シート（令和5年度分）

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 089-6 | | | 効 | | ◆ | | |
| | | | 誰 | | ◇ | | |
| | | | 何 | | （千円） | | |
| 089-7 | | | 効 | | ◆ | | |
| | | | 誰 | | ◇ | | |
| | | | 何 | | （千円） | | |
| 089-8 | | | 効 | | ◆ | | |
| | | | 誰 | | ◇ | | |
| | | | 何 | | （千円） | | |
| 089-9 | | | 効 | | ◆ | | |
| | | | 誰 | | ◇ | | |
| | | | 何 | | （千円） | | |
| 089-10 | | | 効 | | ◆ | | |
| | | | 誰 | | ◇ | | |
| | | | 何 | | （千円） | | |

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）
※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

## 3 「施策の内容」の総合評価

| | 区分 | 選択区分 |
|---|---|---|
| 実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価 | A 80点以上<br>B 60点以上80点未満<br>C 40点以上60点未満<br>D 20点以上40点未満<br>E 20点未満 | B |

## 4 今後の方向性

| | 区分 | 選択区分 |
|---|---|---|
| 今後の施策の内容の方向性 | ① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持<br>② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある<br>③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい<br>④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要 | ① |

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

## 計画期間における達成状況

| 年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 総合評価 | A | A | A | B | B | B | | | | |
| 今後の方向性 | ① | ① | ① | ① | ① | ① | | | | |

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.